

教材4-A-(4) 度数分布表

①『相対度数』の解決のために

○ 相対度数とは、

「その階級の度数の、資料全体の個数（各階級の度数の合計）に対する割合」であり、

$$(\text{相対度数}) = \frac{\boxed{}}{\boxed{}} \text{ で求められる。}$$

【表】 2年2組の生徒の得点

階級(点)	度数(人)
以上 未満	
0～5	2
5～10	3
10～15	7
15～20	5
20～25	6
25～30	2
合計	25

右上の表で「13点」という得点の生徒が入る階級は

$\boxed{}$ 点以上 $$ 点未満 の階級で、この階級の度数は $\boxed{}$ 人です。

よって、

$$\text{相対度数は } \frac{7}{25} = \boxed{} \text{ となる。}$$

○ 相対度数は、全体の個数が異なるいくつかの資料を比べるときに、大変便利である。

たしかめよう

右上の【表】 2年2組の生徒の得点について、次の得点の生徒が入る階級の相対度数を求めなさい。

(1) 27点

(2) 20点